

# ARCHITREND 省エネナビ Ver.3の新機能

## 一次結果：判定結果に等級を表示

※2021年1月版～

判定結果の中段に、一次エネルギー消費量等級を表示するようにしました。

低炭素認定建築物は一次エネルギー消費量等級5、住宅金融支援機構の【フラット35】Sの省エネルギー性（2021年1月現在）は金利Aプラン：等級5、金利Bプラン：等級4以上が必要です。その等級を満たしているか判別しやすくなります。

ARCHITREND 省エネナビ [福井太郎様邸新築工事]

一次エネルギー消費量計算

ファイル 物件情報 外皮結果 暖房 冷房 換気 給湯 照明 太陽光 コーポネ 一次結果 比較

一次エネルギー消費量結果 一次エネルギー消費量の計算結果やZEHの評価を確認します。

結果 エネルギー消費量 ZEH

エネルギー消費量 【フラット35】S

平成28年省エネ基準(一次エネルギー)：適合○  
等級5 (その他を除く評価 10%以上削減)：適合○  
 BEI：0.43 BELS：★★★★★

エネルギー消費性能計算プログラム連携 Excel出力 CA申請書作成 戻る 次へ 閉じる

平成28年省エネ基準(一次エネルギー)：適合○  
等級5 (その他を除く評価 10%以上削減)：適合○  
 BEI：0.69 BELS：★★★★★

【等級5の場合】

省エネ基準(一次エネルギー)  
等級4：適合○  
 : 0.94 BELS：★★☆☆☆

【等級4の場合】

省エネ基準(一次エネルギー)  
等級4：不適合×  
 : 1.04 BELS：★★☆☆☆

【等級4未満の場合】

## 一次結果：フラット35S判定追加

※2021年1月版～

判定結果に「エネルギー消費量」「【フラット35】S」の切り替えボタンを追加しました。

「【フラット35】S」をクリックすると、金利Aプラン/Bプランの省エネルギー性の基準を満たしているか、判定結果が表示されます。

エネルギー消費量 【フラット35】S

金利Aプラン (省エネ性)：一次エネルギー (その他を除く評価 10%以上削減)：適合○  
 金利Bプラン (省エネ性)：外皮性能：適合○ 一次エネルギー：適合○

【クリアしている場合】

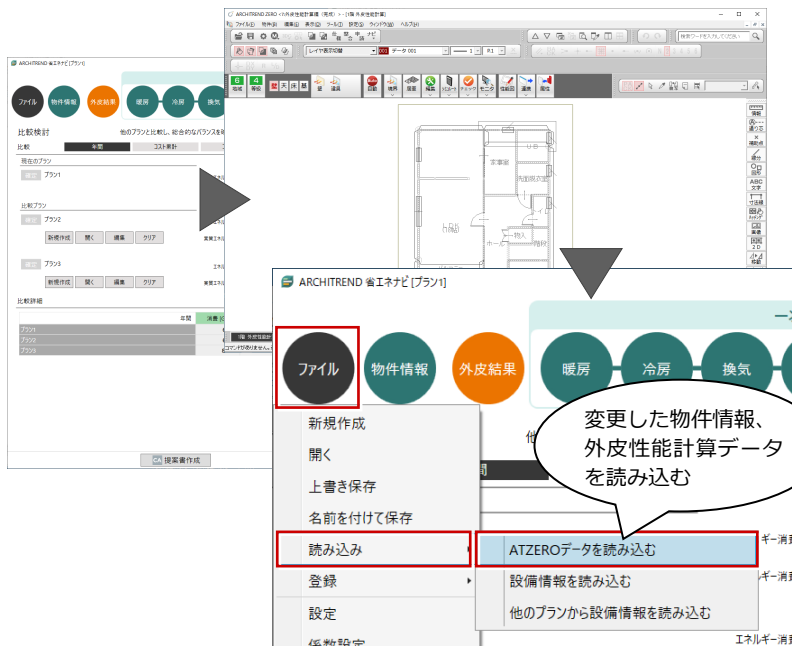
エネルギー消費量 【フラット35】S

金利Aプラン (省エネ性)：一次エネルギー (その他を除く評価 10%以上削減)：不適合×  
 金利Bプラン (省エネ性)：外皮性能：適合○ 一次エネルギー：不適合×

【クリアしていない場合】

### 起動中の ZERO 操作対応

省エネナビ起動中でも、ZERO を操作できるようにしました。  
 省エネナビを開いたまま、ZERO に戻って外皮計算の変更や太陽光パネルを配置できるようになります。  
 変更した外皮性能計算データを省エネナビに読み込んで再シミュレーションできます。



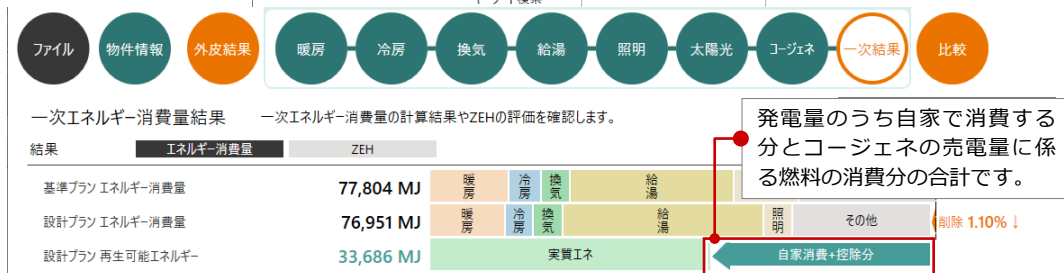
### 建産協の設備仕様の読み込み

一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会 (建産協) の「ZEHの作り方」の設備仕様例を取り込んでシミュレーションできるようにしました。  
 省エネナビの新規作成時に、使用する設備仕様例を選択します。また、途中で別の仕様例に変更することもできます。  
 今までは、各設備ごとに設備仕様の選択が必要でしたが、ZEH に適合する仕様例を簡単に取り込むことができますようにします。



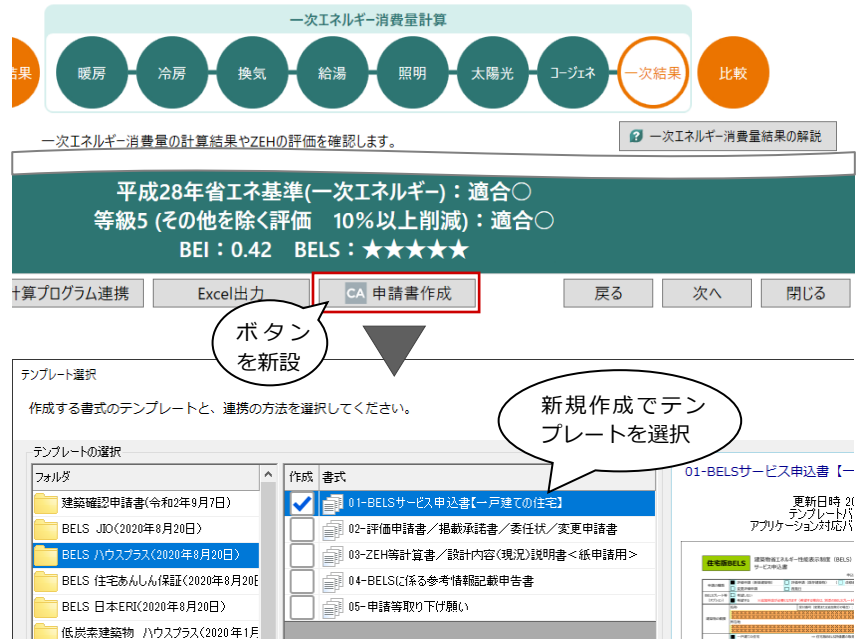
### コージェネ：逆潮流の評価を対応

売電可能なコージェネレーション設備を使用する場合の逆潮流を評価できるようにしました。  
 太陽光発電設備と合わせた再生可能エネルギーの計算が可能になります。



### 一次結果：CA 申請書作成

省エネナビから TREND CA に連携して省エネ関連の申請書を作成できるようにしました。  
 省エネナビからデータを連携できるので、BELS 申請書などの作成が簡単にできるようになります。  
 従来より、申請書を作成する手間が軽減されます。

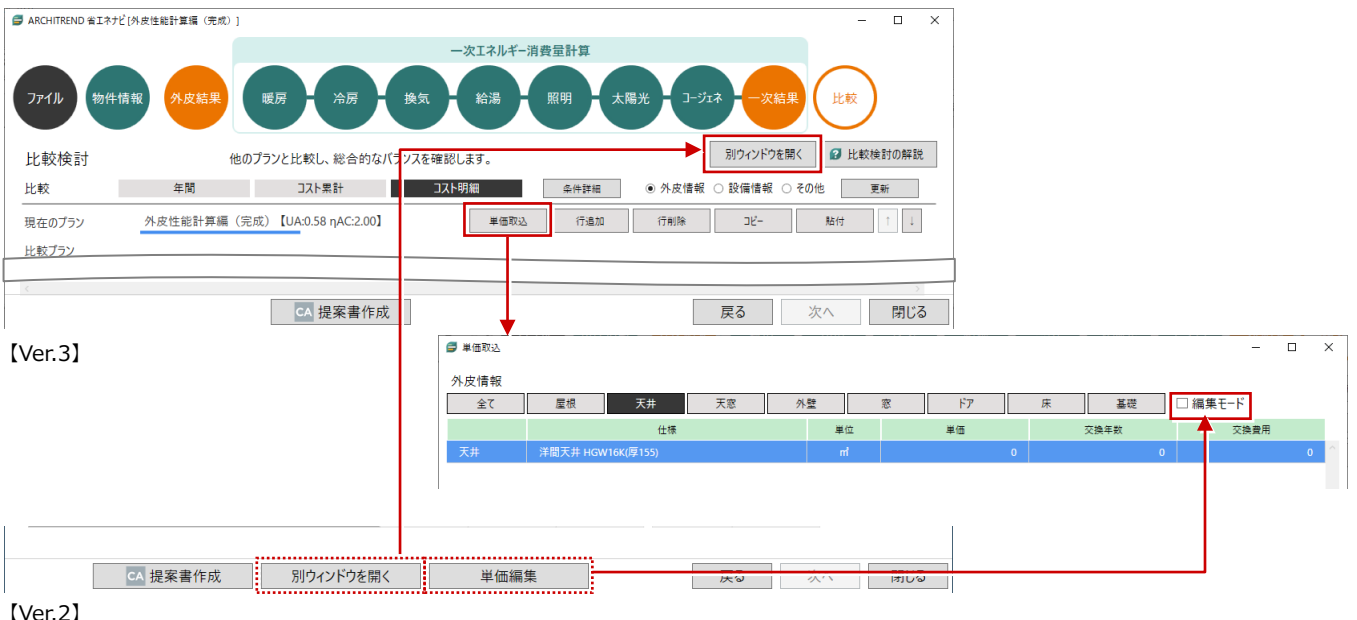


### 比較：比較プランの作成、変更対応

比較プランの作成、変更を容易に行えるようにしました。  
 現在のプランを開いたまま、別の比較プランに変更して再計算できるようになります。  
 「条件詳細」で、現プランと比較プランで異なる条件を確認することができます。



その他、下記機能を移動しました。  
 ・「単価編集」ボタンを削除し、「単価取込」画面に「編集モード」を追加  
 ・「別ウィンドウを開く」ボタンを右上へ移動



**比較：別物件の省エネプランを複写**

比較プランの検討で、別物件の省エネプランデータを選択した場合は、現在開いている物件のフォルダにコピーするようにしました。別住宅の省エネプランを利用して、編集、比較が可能になります。

